

平成22年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	白石町立有明東小学校		
2 所在地	佐賀県杵島郡白石町大字牛屋 6833 番地 2		
3 校長名	原崎 慶輔		
4 学級数 児童生徒数	7学級 143人	5 実施学年 児童生徒数	5学年 23人

6 取組のねらい

第5学年 「おじいさん、おばあさんにしてあげれること・高齢者疑似体験」（10月）

地域の方のお話を聞いたり、自分の体験を振り返ったりすることで、高齢者と心を通わせることよさについて知る。

7 取組の実際（写真等を入れ具体的な様子がわかるようにすること）

・ ハートフル朝会（全校）

清涼荘（老人保健施設）の職員の方を招き、高齢者との関わりについてお話を聞いた。その後、低・中・高学年の代表児童が「おじいちゃん・おばあちゃん」についての作文発表を行った。



・ 高齢者疑似体験（5年）

社会福祉協議会と連携し、体に装具をつけ、各コーナーで老人の方の生活（歩く、新聞を読む等）を体験した。



8 取組の成果と課題

○児童の感想では「手や足は重く、体も曲がったり、ほぼ何も見えたりしませんでした。そんなおじいちゃんやおばあちゃんの手伝いをしようと思いました。」「おじいちゃんやおばあちゃんの感覚を初めて知りました。…おじいちゃんおばあちゃんのために、ユニバーサルデザインを増やそう。」といった感想が多く、これから高齢者の方のために、自分のできることは何かを考える児童が多かった。この経験を継続させるために、福祉施設との連携も考える必要がある。

※必要に応じて、適宜、枠を広げ作成すること